

第 58 回神奈川県合唱祭に出演【富士通川崎合唱団】



01_演奏後の集合写真

6月28日(日)、富士通川崎合唱団は、神奈川県立音楽堂において開催された「第58回神奈川県合唱祭」に出演しました。

このイベントは神奈川県合唱連盟の主催で毎年開催され、当団は今回で5回目の出演となりますが、毎回いろいろな合唱団の演奏を聴き合うことができ、発表の場であるとともに、大変勉強になるイベントです。4日間にわたる開催のうち、当団は最終日のBブロックに出演し、以下の2曲を演奏しました。

[曲目]

- 1)Ave Maria (作曲: Ambrož Čopi)
 - 2)Regina Caeli (作曲: Ambrož Čopi)
- [指揮]加藤雅子

演奏曲は2曲ともスロヴェニアの作曲家アンブロジー・チョピによる作品です。「Ave Maria」は柔らかい旋律と重厚なフォルテの美しい曲です。「Regina Caeli」は対照的に快活なリズムで輝かしく希望にみちた曲です。どちらも聖母マリアを讃える曲ですが、それぞれの曲の特色を出せるよう、練習を重ねてきました。



02_当日朝、ユニオンビルで本番前の練習

合唱祭当日、会場入りする時間の関係で朝9時に「ユニオンビル」(武蔵小杉)に集合し、練習を行いました。普段の休日練習より少し早い時間から練習開始し、まだ声が出しにくいので、ストレッチや顔の筋肉を動かして体を目覚めさせます。前日の練習に引き続き、課題となっている箇所を重点的に確認し、本番に臨みました。



03_本番会場の神奈川県立音楽堂



04_会場入口

本番では5月の演奏会で演奏したホールとの響きの違いに少し不安を覚えました。演奏終了後は盛大な拍手をいただき、重厚なハーモニーと生き生きとした演奏を客席に届けられたのではないかと思います。

ブロックの最後には恒例のジャンケン大会が行われ、勝ち残った人には鉢植え等がプレゼントされ、楽しい雰囲気の中、合唱祭は終了しました。



05_ 本番前のリハーサル

今後は8月23日(日)に行われる全日本合唱コンクール神奈川県大会に向けてさらに演奏技術や表現を磨き、他の強豪団体とよい勝負ができるよう、練習に励んでいきたいと思います。引き続き、応援をよろしくお願いたします。

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団 (ソプラノ) 黒河内安代】